

# アマ クサ シ 天草市



馬場 昭治 市長

天草市は、熊本県南西部の美しい海に囲まれた天草諸島中心部に位置し、人情豊かな”ひと”と自然の恵みによる豊富な農林水産資源、歴史・文化が数多く残る地域でもあります。一方で少子高齢化に伴う人口減少等の課題は否めませんが、官民一体となって、住んでいる人も訪れる人も幸せを実感していただける”宝の島 天草”を目指して、地方創生事業を進めています。企業の皆様にも本市の取り組みにぜひお力添えいただければ幸いです。

### 寄付御礼

- ・贈呈式開催(首長出席、寄付額100万円以上)
- ・感謝状贈呈(寄付額100万円以上)
- ・地公体広報誌掲載
- ・HP掲載
- ・視察受入
- ・功労者表彰推薦
- ・紺綬褒章推薦
- ・その他

人口
総人口……75,783人
男……35,420人
女……40,363人
世帯数…31,873世帯

面積
総面積……683.82km <sup>2</sup>
農用地……47.9km <sup>2</sup> (7.0%)
森林…462.14km <sup>2</sup> (67.6%)
宅地……18.71km <sup>2</sup> (2.7%)

産業構造
第1次産業…12,214(5.5%)
第2次産業…29,902(13.4%)
第3次産業 181,746(81.2%)



人口構成比
15歳未満……11.2%
15～64歳……47.6%
65歳以上……41.2%

教育機関
小学校……17校
中学校……13校
高等学校・高専……6校
大学・専門学校他…2校

高等教育機関
熊本県立天草工業高等学校 (機械科/電気科/土木科/情報技術科)
熊本県立天草高等学校 全日制課程(普通科)/定時制課程(普通科)
熊本県立天草拓心高等学校 本渡校舎 (商業科/生物生産科/食品科学科/生活科学科)
熊本県立牛深高等学校 (総合学科)

交通アクセス
■天草市役所まで
天草空港から……約6.5km
本渡バスセンターから……約0.8km
松島有料道路 上津浦ICから…約15km

※データは令和4年7月発行、熊本県市町村要覧をもとに作成しております。

## 天草市まち・ひと・しごと創生推進計画

### まち・ひと・しごと創生推進事業

〈SDGs〉関連するゴール



#### 1 基本目標 天草を支える産業の発展と安定した雇用を創出する

新たな産業の創出と魅力ある雇用の創出の好循環を確立するため、企業誘致や事業者支援に取り組むとともに、次世代を担う人材の地元就職を促進します。

#### 2 基本目標 天草への新しいひとの流れをつくる

移住希望者の視点に立った受入環境の整備や「関係人口」の創出・拡大への取り組みを行うことで移住・定住施策をとおして地域の活性化につなげます。

#### 3 基本目標 誰もが活躍できる地域社会をつくる

安心して働ける職場づくりを推進し、結婚・妊娠・出産・子育てへの切れ目のない支援を行うことで誰もが能力を生かして活躍できる社会をつくりまします。

#### 4 基本目標 市民が誇りを持ち安心して暮らせる地域をつくる

地域の皆さんが絆を深め、市民が心豊かに暮らせる地域コミュニティの維持や形成を図ることで、特性に即した地域課題の解決、活性化に取り組みます。

## 天草市

### 新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

カテゴリ 3

地域活性化

1 課題

#### スポーツを通じた市民の健康づくりと交流人口の増加

市民の健康づくりや子どもの体力増進、競技力の向上ができる環境づくり、さらにスポーツ大会や合宿誘致により市外からたくさんの来訪者呼び込むことで、スポーツを通じた交流人口の増加による地域活性化に向けた取り組みを進めます。

企業様へ

令和5年7月にオープンするあましんスタジアム(天草市陸上競技場)を企業及び実業団の皆様にも活用していただくとともに、ご支援をお願いします。



スポーツを通じた様々な取り組みを展開

カテゴリ 6

観光客の誘致・地域PR

2 課題

#### 世界文化遺産の保全と活用へ

世界遺産登録を果たした「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産である「天草の崎津集落」について、保全を図り、後世へ継承するとともに、天草の歴史と文化を世界に向けて情報発信し、地域活性化に向けた取り組みを進めます。

企業様へ

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は世界遺産登録5周年を迎えます。歴史や文化への理解と保存・継承に企業の皆様の支援をお願いします。



世界遺産の構成資産・「天草の崎津集落」

カテゴリ 10

地域創生

3 課題

#### 海の玄関口“本渡港”に新たなにぎわいを創出したい

天草市の海の玄関口である本渡港は、熊本天草幹線道路・本渡道路の開通を契機として、港湾や交通結節拠点だけでなく、複合的な機能を持った賑わい創出の場、そして様々な人々が交流できる拠点としての整備が必要となっています。

企業様へ

市民の交流の場や学びの場としての機能を創出し、周辺地域も含めた活性化が図れる拠点の整備を推進しています。企業の皆様の支援をお願いします。



本渡道路開通で本渡港へのアクセスも便利に

カテゴリ 4

児童福祉

4 課題

#### 安心して子どもを産み育てられるまちの実現へ

子育て支援は、子育て家庭によってニーズが異なり、妊娠期から子育て期にかけてそれぞれの課題に応じた支援が必要です。また行政や民間企業、さらには地域で子育て支援に取り組む団体など、官民一体となった取り組みが必要です。

企業様へ

地域において、子どもや子育て家庭を応援する活動に取り組んでいる団体やグループの運営並びに事業に関して、企業の皆様からの支援をお願いします。



各地域で様々な子育て支援が行われている

重点プロジェクト

自然とともに創るまち「人にもイルカにも優しい海の実現」

<SDGs>関連するゴール



総事業費 30,237千円 寄附目標額 -
数値目標 ●環境保全活動を行っている市民の数… 36,500人(令和7年度)
●現地の調査回数…80回

背景・現状の課題

本市五和町の北側にある早崎海峡は、豊富な魚類が集まる漁場となっており、また野生のイルカが古来より漁業者と共存しています。世界的にも珍しく、本市の貴重な観光資源となっている豊かな自然を後世に引き継ぐため、生息数や人との共存の歴史などの調査を行い、データ化を図り、公開することで「人にもイルカにも優しい海の実現」につなげていきます。

地球温暖化防止や温室効果ガス削減に対する意識が高まっており、本市においてもこの豊かな自然環境を後世に引き継いでいくための取り組みが必要です。さらにイルカウォッチングも観光資源としてだけでなく、教育プログラムとしての取り組みを進め、価値を高めていく必要があります。



イルカが生息する豊かな海

事業の目的・内容

天草市の北部に位置する早崎海峡海域(通詞島沖)に生息するイルカについて、生息数や漁業者との共存の歴史などの情報を収集するとともにデータベース化に取り組み、また環境保全に関する調査を実施し、収集した情報を関係機関と連携を図り、教育・観光事業などに活用して人にもイルカにも優しい海の実現に向けていくことを目的として事業に取り組みます。

併せて、海岸漂着物の集積が著しく、海岸における良好な景観及び環境保全に深刻な影響を及ぼしている地域等、海岸漂着物対策を重点的に推進する区域において、漂着物の回収、及び処理並びに発生抑制対策に関する事業を実施することで環境保全につなげていきます。

- 大学と連携し、イルカの個体識別、遭遇場所、出産状況等のデータ整備に必要な資料の収集・整理などの実態調査を行います。
●環境に関する学びのプログラムを取り入れた観光や、教育現場との連携、天草イルカ本を発刊します。
●豊かな生態系を守るため、環境保全に係る事業及びルールづくりに取り組みます。



学びのプログラムを取り入れた活動

寄附の具体的なメリット
10万円～市ホームページ等への記事掲載
100万円～感謝状贈呈式を開催(報道機関へのプレスリリースを実施)
500万円～天草陶石を使用した陶板製感謝状の贈呈
※寄附金充当事業の説明を実施します。寄附企業の皆様とのご縁を大切に参ります。

寄附申出書の事業名選択時は「人にもイルカにも優しい海の実現」を選択してください。

重点プロジェクト

森林と海など天草の特性を活かしたカーボンニュートラルの展開

<SDGs>関連するゴール



総事業費 155,869千円 寄附目標額 -
数値目標 ●2030年の温室効果ガス吸収量…41,600 t-CO2/年

背景・現状の課題

2050年を見据えたゼロカーボンの推進にあたっては、省エネ活動の推進や再生可能エネルギーの普及により、温室効果ガスの排出を削減しなければなりません。天草市には豊かな森林資源や広大な海に面した地域であり、適切な管理と保全により、温室効果ガスの吸収を高める森林整備やブルーカーボンの力を引き出すことが美しい天草を守ることに繋がります。

次代を担う子どもたちに豊かで安心な未来を引き継ぐためには、経済的な収益を生む脱炭素活動や環境分野にとどまらない多様な事業の連携による地域課題の解決、持続可能な循環共生型の暮らし、そしてそれらを実現するため、学びと行動変容を進めて行くことが必要です。



産業の活性化が持続可能なまちづくりに

事業の目的・内容

林業の6次産業化を後押しし、天草産木材等の地産地消を促進するとともに、持続可能な森林経営の推進、経営安定化、効率化により、林業の活性化を図ります。また「植えて」「育てて」「伐って」「使って」の循環サイクルを促進することで、森林が持つ公益的機能の発揮に寄与することができます。併せて、地先にあった藻場の再生・造成や資源管理を実施することで、水産資源の維持、回復を図るとともに、漁業者と連携して実施することで資源管理に対する意識啓発にもつながります。このように地域の特性に応じた取り組みを実施することで天草の豊かな海の創生、良好な環境の維持を図ります。

- 広大な森林を有する本市にとって実質的なCO2排出量の削減に寄与するだけでなく、カーボンクレジット取引等きわめて大きな可能性があります。計画的な森林整備を行い森林吸収量を確保します。
●海草やその葉に付着する微細な藻類は光合成でCO2を吸収して成長します。漁業関係者との協働による新たな藻場づくり、藻場再生に取り組みブルーカーボンによるCO2吸収へつなげます。



藻場の再生が環境への負荷を削減

寄附の具体的なメリット
10万円～市ホームページ等への記事掲載
100万円～感謝状贈呈式を開催(報道機関へのプレスリリースを実施)
500万円～天草陶石を使用した陶板製感謝状の贈呈
※寄附金充当事業の説明を実施します。寄附企業の皆様とのご縁を大切に参ります。

寄附申出書の事業名選択時は「天草の特性を活かしたCO2削減」を選択してください。

●その他の寄附事業に関しましては、最寄りの肥後銀行までお問い合わせください。